

R3春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

山加積地区

提言等の項目	R3春に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①施設内の風呂の修理について	山加積地区公民館内にある風呂が壊れている。修理を依頼したいが、公民館を管理している生涯学習課に言えば良いのか、福祉介護課に言えば良いのかがわからない。それとも依頼しても、自分たちで修理してくれと言われるのか。	山加積地区公民館は地区公民館、福祉センター、コミュニティセンターという3つの機能を兼ね備えた施設です。壊れたままというわけにはいかないで、風呂の管理をする部署を確認して、対応します。
②光サービス開始時期	光ケーブルの工事を近隣で実施している。工事業者もNet3も、利用できるようになるのは来年の4月頃ではないかと言っていたが、いつから光ケーブルが利用できるようになるのか教えてほしい。	現在、実施している光ケーブルの幹線工事は今年度末までに完了する予定です。来年4月からは順次、幹線から各家庭や施設への引き込み工事が始まります。光サービスの開始は来年4月ですが、利用できるのは引き込み工事後になります。正確な利用開始日はNet3やインターネット事業者である株式会社TAMより追ってご案内しますので、お待ちください。
③南部小学校の教育体制(1)	南部小学校だよりを見ると、各学年の担任の先生の内訳で「あおぞら級担任」、「こだま級担任」、「スタディメイト担任」とあるが、これらの担任はどういう仕事をしているのか。	南部小学校には様々な障がいのある子ども達が通常の教科の勉強の他に、将来的な自立を支援するための勉強をしている特別支援級があります。「あおぞら級」と「こだま級」がそれに該当し、それぞれに担任の先生がいます。スタディメイトは特別支援級以外の児童であっても、学校生活や学習で困ることがありますので、授業の際に横に寄り添って支援をしています。
④南部小学校の教育体制(2)	南部小学校は全校児童数140人に対して、教員数は27人となっている。これは児童5.5人に対して1人の先生がついているという計算になり、非常に恵まれた学習環境だと思うが、学年別に見た時に昨年と比べて児童の成績は上がっているのか。	学力については毎年分析することも大切ではあるのですが、一年ずつで判断するだけではありません。5～6年前から見ると、子どもたちの学力は確実に向上しています。教員数が恵まれているということもありますが、その他南部小学校では、外国語活動の教育を進めてきたこともあります。英語教育はただ外国語を勉強するというだけではなく、子ども同士が英語で会話することによって、話す力や聞く力、コミュニケーションをとる力を養うことができます。これからの社会で求められている学力は勉強だけではなく、生きる力全般です。

R3春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

山加積地区

提言等の項目	R3春に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑤青雲閣の体育館	青雲閣の体育館が老朽化している。またウォーキングサッカーで利用したが狭かった。いつ頃、建て替えになるのか。また、建て替えるなら今の大きさでは手狭である。	県内全体で青少年の家が縮小傾向であり、建て替えがいつになるかは不明です。青少年施設としては、市内の子ども達のための施設という声もあり、まだ結論がでていません。一緒に考えてください。
⑥カーブミラーの交換	公民館前の道路には2枚のカーブミラーが設置されている。映りが悪いのでミラーの交換を市に依頼したところ、1枚はすぐに交換してもらえたが、もう1枚は予算不足により後日対応するということになった。だが、これで3～4年経つが今も交換されておらず、映りが悪いままになっている。いつ換えてもらえるのか。	明日すぐに確認して、映りが悪くなっているようであれば交換します。 (現地を確認し、カーブミラーを交換しました。)
⑦新型コロナワクチン接種の順位	新型コロナワクチンの接種は年齢が上のグループから下のグループへと、このまま順に年齢を下げながら実施していくのか。ある程度の年齢まで接種が完了したら、働いている人達を優先に接種した方が良いのではないか。	新型コロナワクチンの接種順位は国が定めており、75歳以上のグループの次は65歳以上75歳未満のグループ、その次は60歳以上65歳未満のグループと基礎疾患のある人を対象としたグループに行う予定です。また、働いている人たちへの接種をどのように行うかは今後の課題となっています。